

支援提案企業が自らの経営資源を幅広く提供し、被災地域企業が抱える多様な経営課題の解決を図ることを目的として対話の場を提供。

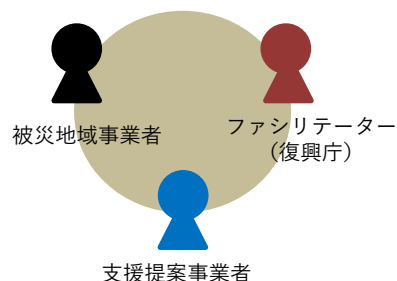
1. 令和6年度の開催ポイント

参加企業について

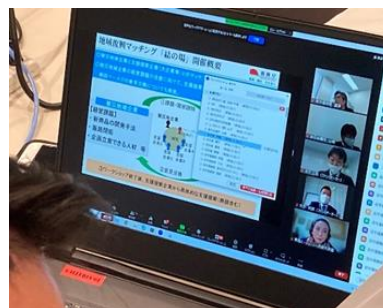
- 被災地域企業数 21事業者
(食料品製造加工、販売企業が中心)
- 支援提案企業数 18事業者
(卸・小売企業が中心)

開催方法

- 1対1 オンラインマッチング



令和6年度のオンラインマッチングイメージ



結の場当日の様子

2. マッチング件数、内容について

マッチング件数について

- 支援提案企業より120件の支援提案

【支援提案の例】

- 社員食堂でのメニュー採用、社内販売会の開催
- 商品プロモーションについてのアドバイス
- 輸出検討に関する全般的なアドバイス など

3. 過去の「結の場」開催実績について

- 平成24年度から令和6年度までに延べ43回
(岩手13回、宮城17回、福島13回)
- 参加被災地域企業数 延べ385事業者
- 参加支援提案企業数 延べ1,045事業者

被災地域企業	被災地域企業概要	商品・サービス	マッチング事例
有限会社竹屋製菓 (岩手県久慈市) https://www.e-takeya.net/	岩手県産を中心に良質な国内産の大豆・黒豆を使用した黒豆ケーキ・ゼリー等を製造・販売。	・黒豆ケーキ ・黒豆ゼリー 	・支援提案企業のWEBマガジンにて地元名産品としてPR ・支援提案企業の社内販売用として商品提供
株式会社スリーピークス (岩手県大船渡市) https://3peaks.shop/	自社で原料のぶどう及びりんごを栽培。果実本来の味わいや香りを引き出し、自然な味わいのワインやシードルを製造・販売。	・シードル ・海街ワイン ・りんごジュース 	・支援提案企業の社内サイトに商品情報等を掲載し、社内販売を実施
株式会社木の屋石巻水産 (宮城県石巻市) https://www.kinoya.co.jp/	1957年に創業し、捕鯨基地の所在する宮城県石巻市ならではの鯨大和煮缶詰や、地元で水揚げされる鮮魚を活かした缶詰等を製造、販売。	・鯨大和煮缶詰 ・鯖缶詰 ・牛タン缶詰 	・支援提案企業の拠点内社員食堂での商品の販売会を実施
五光食品株式会社 (宮城県塩竈市) https://goko-h.com/goko/	宮城県の名産「牡蠣」「牛たん」加工品の製造、自社製品を主としたレストラン経営・お土産品販売・業務卸を中心に営業。	・炙りかき ・燻製かき ・おつまみ牛たん 	・支援提案企業の社内販売用として商品を提供
ふくしま果樹加工考案室 (福島県伊達市) https://www.instagram.com/fukushima_kajuco/	地元産フルーツを積極的に活用した加工食品を製造・販売。規格外フルーツの商品化を行うアップサイクルをコンセプトにした商品づくりを実施。	・果肉入りシロップ ・ジャム ・ドライフルーツ 	・支援提案企業から取引先の紹介を受けてラジオ番組に出演し、自社の商品や取組をPR

被災地域企業

三養水産株式会社（宮城県石巻市） <https://kaki365.com/>

支援提案企業

株式会社食一

1.被災地域企業概要

「冬の旬、宮城三陸産の濃厚な牡蠣」を365日いつでも楽しんでいただけるように、冷凍の殻付き牡蠣から牡蠣の加工食品まで独自に商品を製造・販売。

2.主力商品

- ・殻付き牡蠣(生食用・加熱用)
- ・フライ製品 など



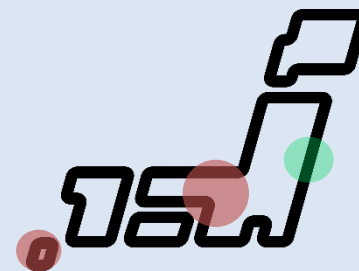
▲生食用三陸産牡蠣



▲牡蠣のクリームフライ

3. 支援提案（マッチング）内容

- ・被災地域企業は、幅広い商材を取り扱っており、牡蠣の他、フライ製品等においての販路拡大を進めたい意向についてご相談。
- ・支援提案企業の取引先である様々な地域の飲食店への紹介を通じ、販売先が東北以外（大阪府・沖縄県等）の商圈へ拡大



被災地域企業

株式会社フーズネット福島（福島県郡山市） <http://foods-net.com/>

支援提案企業

株式会社東急エージェンシー

1.被災地域企業概要

国産きくらげの品質と通期生産にこだわり、冬の寒い時期でも取りたての新鮮なきくらげを食卓へ届けている。

2.主力商品

- ・ 生きくらげ
- ・ 乾燥きくらげ
- ・ ふくしま旨ったれ！ など



▲生きくらげ



▲乾燥きくらげ



▲ふくしまの旨ったれ！

3. 支援提案（マッチング）内容

- ・ 被災地域企業から商品開発等に関する課題感をご説明。
- ・ 支援提案企業の関連先であり、産学共同事業に関心を持つ都内女子短期大学における、ゼミ科目としての「白きくらげ」を活用した新商品開発を提案。
- ・ R7年度後期からのゼミ科目として開講へ調整。



- ・イノベ構想重点6分野に特化させ、福島発のイノベーション創出を目指すスピノフ型の「結の場」。
- ・令和6年度からは、オープンイノベーションを促進すべく「福島から世界を目指すディープテックベンチャーによるピッチイベント」を開催。

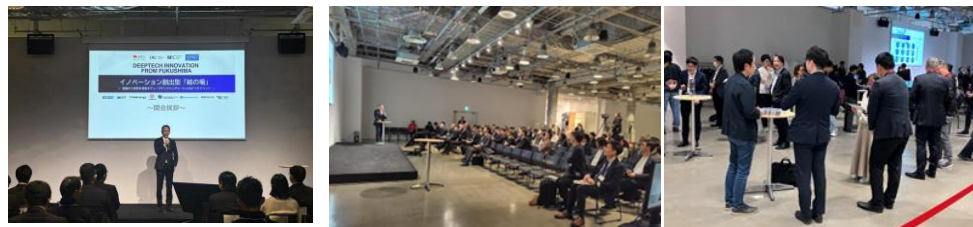
1. 令和6年度の開催概要

参加企業

- ・登壇者：浜通り地域等のインキュベーション（3施設）
施設の入居企業（8社）
- ・聴講者：金融機関、投資家、ベンチャー企業、
福島県外企業、研究機関等計118団体、
157人

会場

- ・東京（有楽町）で開催（オンライン併用）。
後半には参加者同士の交流会を実施。



結の場当日の様子

2. 内容について

プログラム

- ・開会挨拶
- ・福島イノベーション・コースト構想の紹介
（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構
- ・インキュベーション施設ご紹介
- ・ディープテックベンチャー8社によるピッチイベント
- ・名刺交換、交流会

結果

事務局にオンライン参加者を含む延べ64件の連絡要請を受け、個別フォローアップを実施。

【参考】過去の開催実績について

- ・令和3年度から令和6年度までに延べ9回実施
- ・内容：福島県内個別企業、研究機関とのマッチング
ロボット・ドローン セミナー
新エネルギー（水素）セミナー
バイオ医薬品 セミナー

令和5年度からは、スタートアップ企業による
ピッチイベントを開始